

「有機」に変る経過判る

世良博士 無機水銀の研究でもらうす

水俣病の原因を究明している熊大医学部では、最近になって水俣湾でとれた魚のなかから水銀を含んだ有機化合物（毒物）を純粋にとり出すことに成功した。この毒物をネズミに与えたところすべてが発病、現在ネコに与えて実験をつづけており、近く研究発表会をひらくことになっている。

いっぽう同学部の世良医学部長（熊大研究班長）は十五日の英

験ネコ懸案の席上、微妙な段階なので正式にはいえないがと前置きして、従来ナツとされていた「無害の無機水銀が魚の体内で有毒の有機水銀にかわるメカニズム」が白ネズミの実験ではつきりしたと明らかにした。

これについて世良班長は「アメリカでも研究していることだし、来年三月までには結論を出したい」と述べているが、同研究班では工場排水と有毒物とのつながりには自信をもったものとみられている。

ともに治水事業の促進をはかるための措置を講ずること。

の三点をとくに要望した。いまのところ治水事業特別会計は創設できる見通したが、②についてはメドは立っていない。十六日以後も引きつづき自民、社会、社会共、国会、政府と広く陳情を行なう。

（東京支社）